

新鮮なホタテや甘エビなど、お魚料理を親子で体験

平成26年11月29日、「親子おさかな料理教室」が総合福祉センターで開催され、10組25人の親子が参加しました。

これは、食育を推進する取り組みの一つとして実施されたもので、今回は、新鮮な魚介を使った料理に関心を持ってもらおうと、留萌管内お魚普及協議会の協力により、北るも

い漁協羽幌女性部の4人を講師に招きました。

当日は、留萌管内で水揚げされたホタテや甘エビ、タコが用意され、子どもたちは、講師らの指導で、ホタテと甘エビの殻むきに挑戦。この後、海鮮太巻き、ホタテの卵とじなどを作り、新鮮な海の幸を満足そうに味わいました。



駅前中心5商店街の街路灯がLED化で明るく



芦別駅前商店会など中心商店街の街路灯がLED化され、平成26年12月3日、芦別駅前通りで点灯式が行われました。

LED化工事は、芦別駅前商店会、オリオン都通り商店街振興会、曙通り商工振興会、コムタウン銀河街道商店会、ファミリータウン一番街商店街振興会の5商店街で

平成26年10月から順次行われ、合わせて79基がLED化されました。また、都通りには融雪槽1基が設置されたほか、曙通りの老朽化したアーケードが撤去されました。

点灯式には、5商店街の代表など関係者が出席。点灯ボタンを押して新たなまちの灯りの誕生を祝いました。

災害時の石油類優先供給などで協定結ぶ

平成26年12月4日、市と空知地方石油業協同組合（山口清悦理事長）は、「災害時における石油類燃料の供給等に関する協定」を結び、市役所で調印式が行われました。

これは、地震や風水害などが発生または、発生するおそれがある場合、消防車や救急車など緊急車両への燃

料の優先供給や、避難所、医療機関などへの優先提供のほか、被災者などに対して、ガソリンスタンドを一時避難所とし、水道水を提供することなどを取り決めたものです。

調印式では山口理事長のほか、同組合に加盟する芦別支部の関係者が出席し、協定書を取り交わしました。



歌や踊りに大喝采、歳末恒例の市民のど自慢の集い開催



平成26年12月7日、「歳末たすけあい市民のど自慢の集い」が市民会館で開催されました。

「のど自慢の集い」は、芦別市民劇場が主催し、今年で34回目。

当日は、芦別市スターキッズダンスMaxの子どもたちによるバレエでオープニング。民謡連合会による「芦別名所相撲甚句」や町内会連合

会、老人クラブ連合会など各種団体の趣向をこらした出し物やカラオケ、踊りなどが多彩に繰り広げられました。

また、市議会議員会は「えーと十二支議のはじまり」と題して、12人がえとに扮して寸劇を披露。満員会場から盛んな拍手が送られていました。